

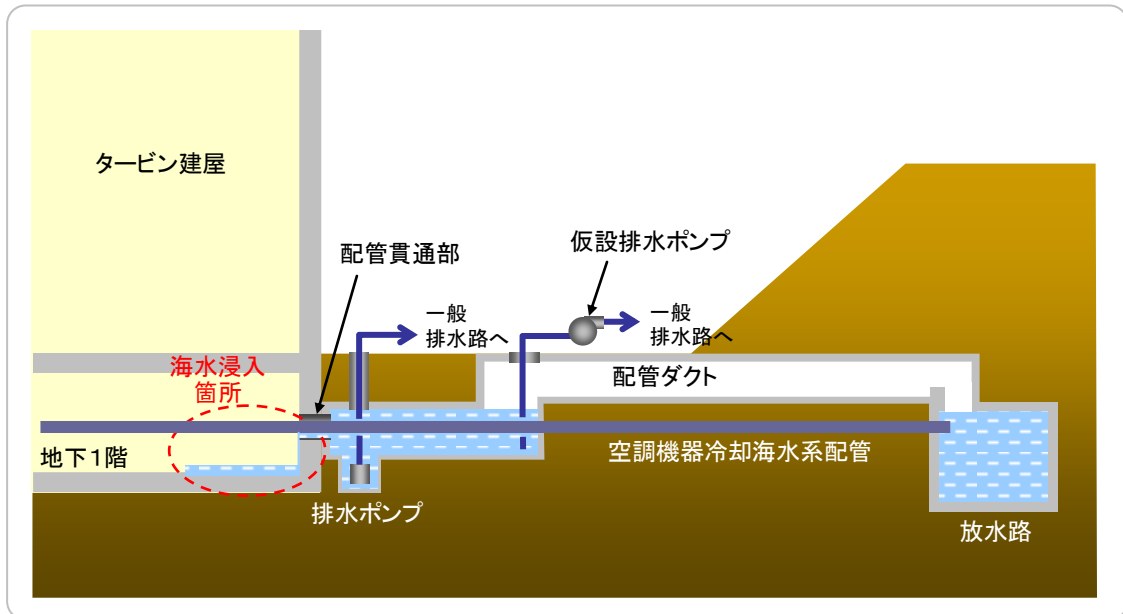
浜岡原子力発電所3号機 タービン建屋内への海水の浸入について

平成 21 年 10 月 08 日

発生号機	3号機(調整運転中) : 沸騰水型、定格電気出力110万キロワット
発生年月日	平成21年10月8日
発生時の状況	<p>午前9時25分、協力会社社員がタービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア(放射線管理区域)で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見しました。</p> <p>直ちに現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり(約5m×約50m)があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、海水であることを確認しました。</p> <p>放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に海水が浸入しており、配管ダクト内に設置している排水ポンプおよび仮設排水ポンプにより排水し、タービン建屋内への海水の浸入は停止しました。</p> <p>なお、タービン建屋内へ浸入した海水は、排水処理設備にて適切に処理しています。</p> <p>本事象によるプラントの運転への影響はなく、安定運転を継続しております。</p>
原因	<p>原因は、潮位の上昇および台風18号の影響による海のうねりにより、放水路内の水位が上昇し、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に海水が浸入し、配管ダクトとタービン建屋の接続部に設置されている配管貫通部よりタービン建屋内に浸入したものと推定しました。</p>
今後の対応	<p>配管ダクト内の安全を確認した上で、貫通部等の点検を実施します。</p> <p>当面の対応として、潮位の上昇等により再発が予想される場合には、あらかじめ配管ダクト内の水位を確認し必要に応じ排水することとし、また恒久的な対策についても今後検討してまいります。</p>
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありませんでした。
お知らせ基準	運転情報 「表2-11 建屋内において、雨水等の浸入を発見したとき」に該当します。

以上

浜岡原子力発電所3号機 タービン建屋内への海水の浸入について



潮位の上昇と台風による海のうねりにより、放水路内の水位が上昇し、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に海水が浸入しました。
配管ダクト内に浸入した海水が、配管貫通部を経由して、タービン建屋地下1階に浸入しました。
配管ダクト内に設置している排水ポンプおよび仮設排水ポンプにより、配管ダクト内の海水を排水し、タービン建屋地下1階への海水の浸入は止まりました。
なお、潮位が低下したことにより、放水路から配管ダクトへの海水の浸入は止まっています。